

日時 2025年2月5日(水) 18:00-20:00 (受付 17:30)

場所 叡啓大学4階401教室 (広島市中区幟町1-5) 【定員 50名】

講演 **私たちが世界の未来にできること**



～ガーナで史上初、ゴミ山での学校建設がもたらす子どもたちへの希望～

講演者 NPO 法人 Cloudy 副代表 鳥居 優美子 氏

モデレーター 米倉 誠一郎 (HBMS 研究科長)

日本のNPO Cloudyはアフリカのガーナに既に7校の小・中学校を建設し、現在アグボグブロシー地区に第8校目の建設に取り掛かっています。アグボグブロシーには、日本を含めた先進諸国から廃棄された電子機器の墓場(東京ドーム35個分に約15万トンのゴミ)があり、異様で悲惨な状況呈しています。住人は電子ゴミを燃やしレアメタルなどを回収するため、周囲には悪臭が立ち込め、その平均寿命は30代後半ともいわれています。もちろん、学校などは存在していませんでした。



その住民の要請から、このど真ん中に学校を建設しようとしている日本のNPOがあります。それが銅冶勇人さんと今回登壇いただく鳥居さんが主宰するNPO法人Cloudyです。

Cloudyは同時にガーナの女性たちがデザイン・縫製したアパレル製品を渋谷のショップやオンラインで販売する株式会社Cloudyを設立し、その利益の10%でこうした社会活動をしているユニークな事業体なのです。

今回のセミナーでは、日本の国際貢献の新しい形やビジネスを通じて社会課題を解決する具体的な事例をお話しいたできます。また、講師のキャリアから、これからのキャリア選択について共に考える場を提供したいと考えています。

お申し込みはHBMSウェブサイトから

(2月3日(月)15時まで ※定員になり次第締切)



プロフィール

講演者 NPO 法人 Cloudy 副代表 鳥居 優美子

2008年慶應義塾大学経済学部卒業後、旅行会社、広告代理店を経て2015年株式会社DOYA / ¥・NPO法人CLOUDY入社。ガーナ在住。現地で教育、雇用、健康を軸に活動を行う。現在世界最大の電子機器の墓場に8校目の学校建設中。



モデレーター HBMS 研究科長 米倉 誠一郎

一橋大学社会学部および経済学部卒業。同大学大学院社会学研究科修士課程修了。ハーバード大学Ph.D.(歴史学)。2008年より2012年まで一橋大学イノベーション研究センター長。2012年より2014年までプレトリア大学ビジネススクール(GIBS)日本研究センター所長を兼務。2017年より一橋大学名誉教授。2017年より2024年まで法政大学大学院教授。現在、一橋大学イノベーション研究センター名誉教授、デジタルハリウッド大学大学院デジタルコンテンツ研究科特命教授、京都橘大学特任教授、一般社団法人Creative Response Social Innovation School学長、世界元氣塾塾長

